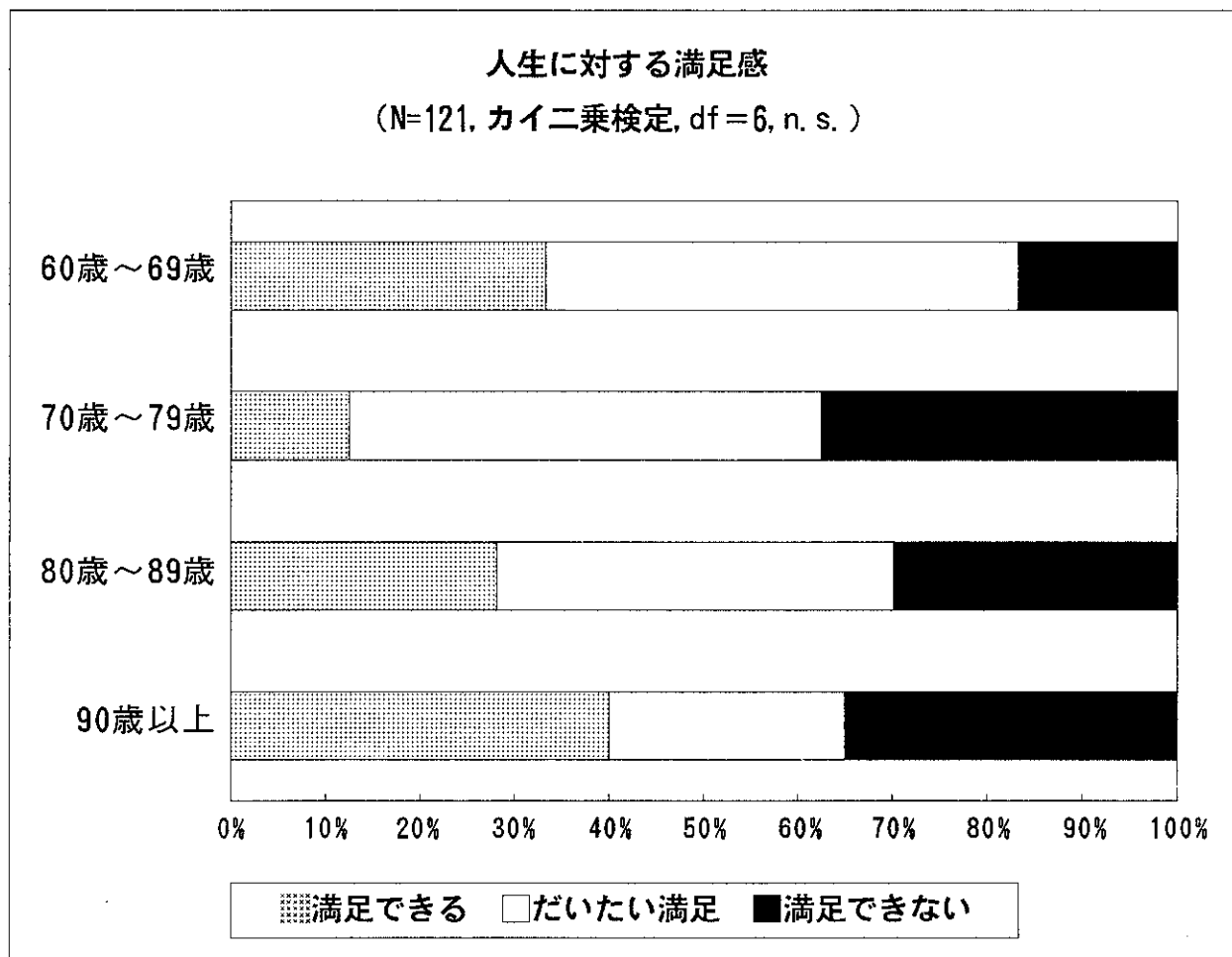


E-6 人生に対する満足感

「あなたの人生をふりかえってみて、満足できますか」という質問に対する施設入所者の回答は、「だいたい満足できる」が最も多く、42.1%、「満足できない」が31.4%、「満足できる」が26.4%であった。

年齢階層別に見ると、図のように、60～69歳では、「だいたい満足できる」が最も多く、50.0%、次に「満足できる」が33.3%であった。70～79歳では、「だいたい満足できる」が50.0%、次に「満足できない」が37.5%であった。80～89歳では、「だいたい満足できる」が42.1%、次に「満足できない」が29.8%であった。90歳以上では、「満足できる」が40.0%、「満足できない」が35.0%であった。

人生に対する満足感について年齢層別に見ると、「満足できない」と否定的に回答した入所者は、60歳代では20%以下であったが、70歳代以上では、20%台後半から30%台後半を占めていた。

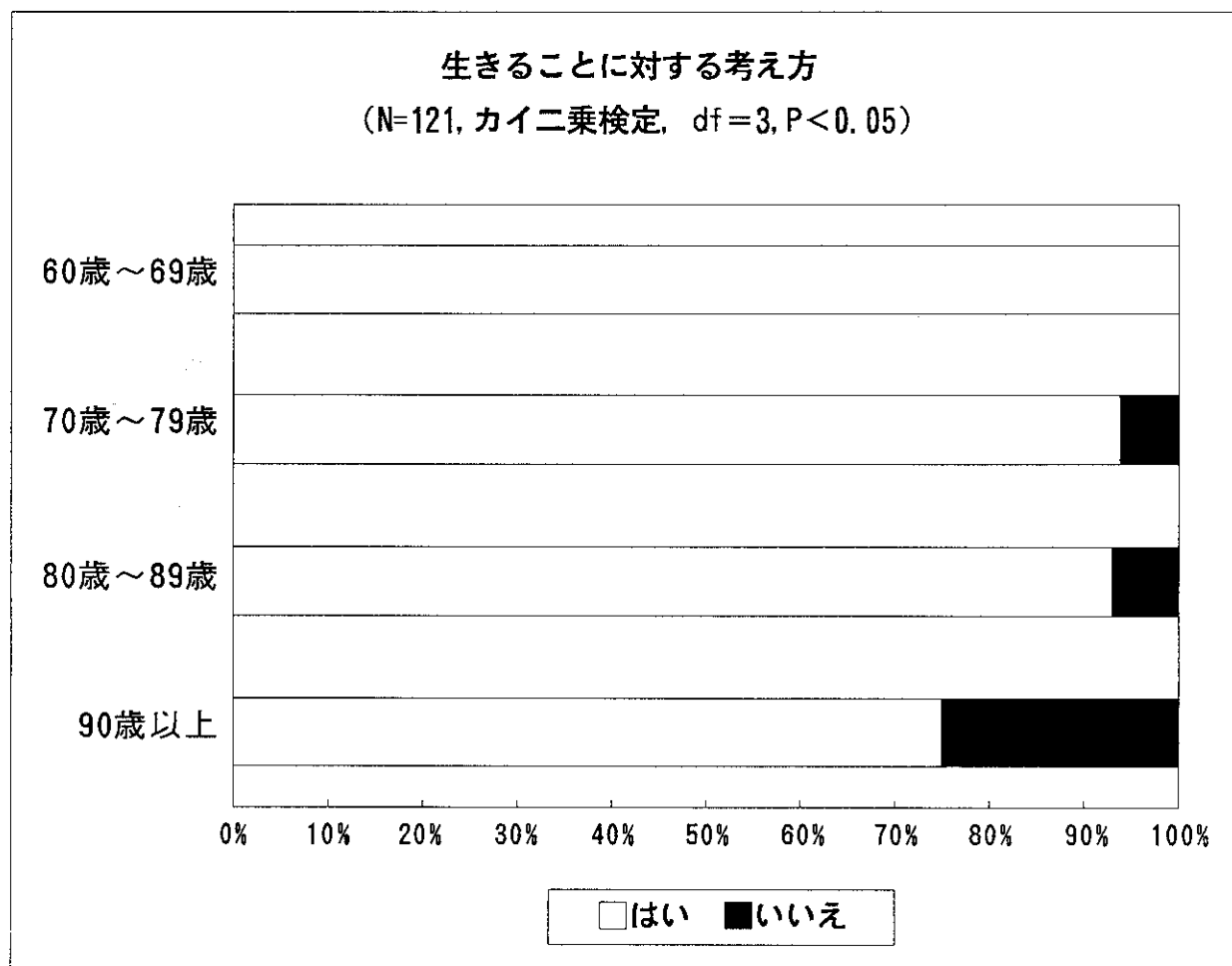


E-7 生きることに對する考え方

「生きることは大変きびしいと思いますか」という質問に對する施設入所者の回答は、「はい」が90.9%、「いいえ」が9.1%であった。

年齢階層別に見ると、図のように、60～69歳では、「はい」が100%であった。70～79歳では、「はい」が93.8%、「いいえ」が6.3%であった。80～89歳では、「はい」が93.0%、「いいえ」が7.0%であった。90歳以上では、「はい」が75.0%、「いいえ」が25.0%であった。

生きることに對する考え方について年齢階層別に見ると、「はい」と肯定的に回答した入所者は、全体的に比率が高く、90%以上を占めていたが、90歳以上では70%台で、有意な差が認められた。

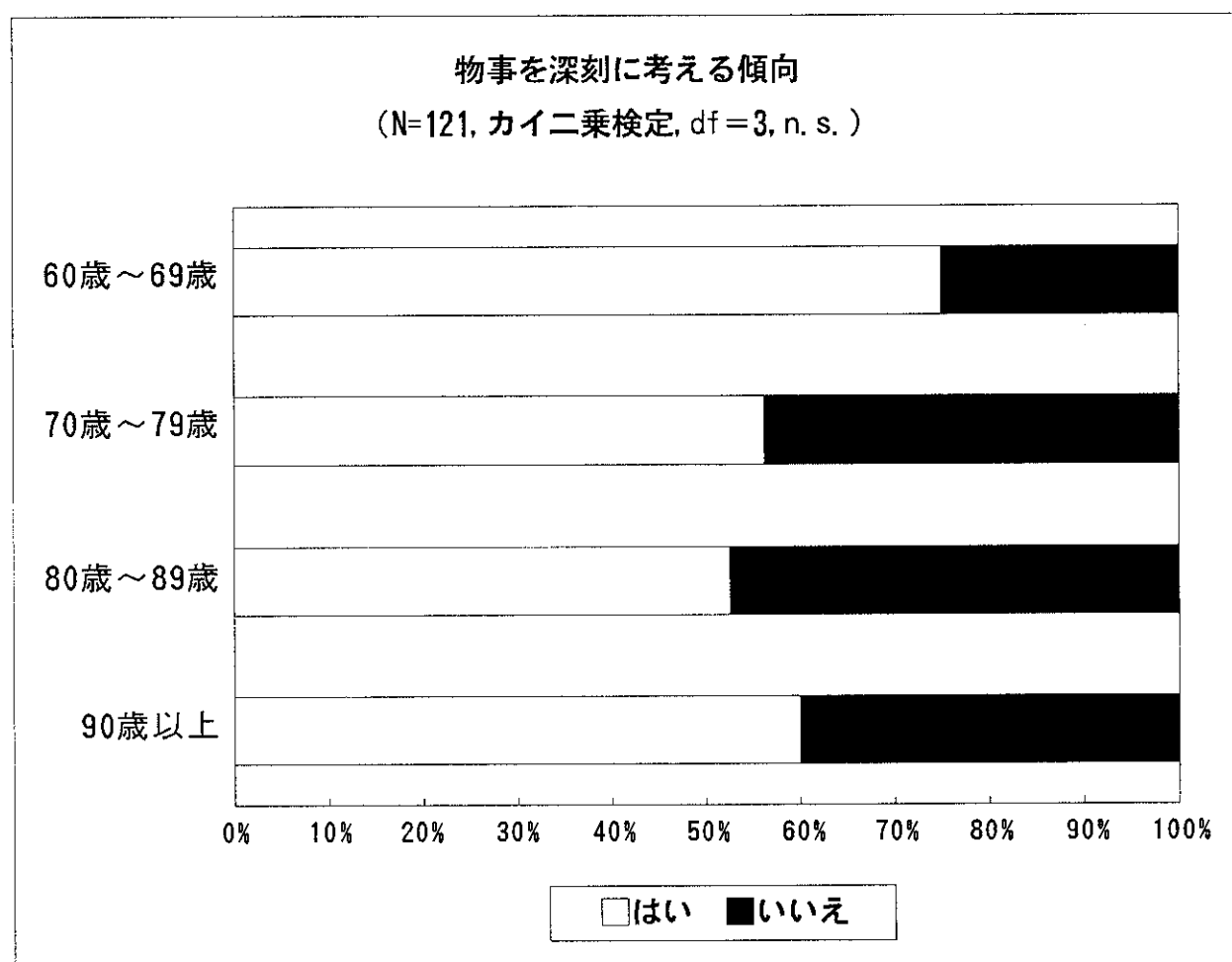


E-8 物事を深刻に考える傾向

「物事をいつも深刻に考えるほうですか」という質問に対する施設入所者の回答は、「はい」が57.0%、「いいえ」が43.0%であった。

年齢階層別に見ると、図のように、60～69歳では、「はい」が75.0%、「いいえ」が25.0%であった。70～79歳では、「はい」が56.3%、「いいえ」が43.8%であった。80～89歳では、「はい」が52.6%、「いいえ」が47.4%であった。90歳以上では、「はい」が60.0%、「いいえ」が40.0%であった。

物事を深刻に考える傾向について年齢層別に見ると、「はい」と肯定的に回答した入所者は、60歳代では75.0%とやや高い比率を示しているが、70歳代以上では50%台から60%台となり、その比率がやや減少する。

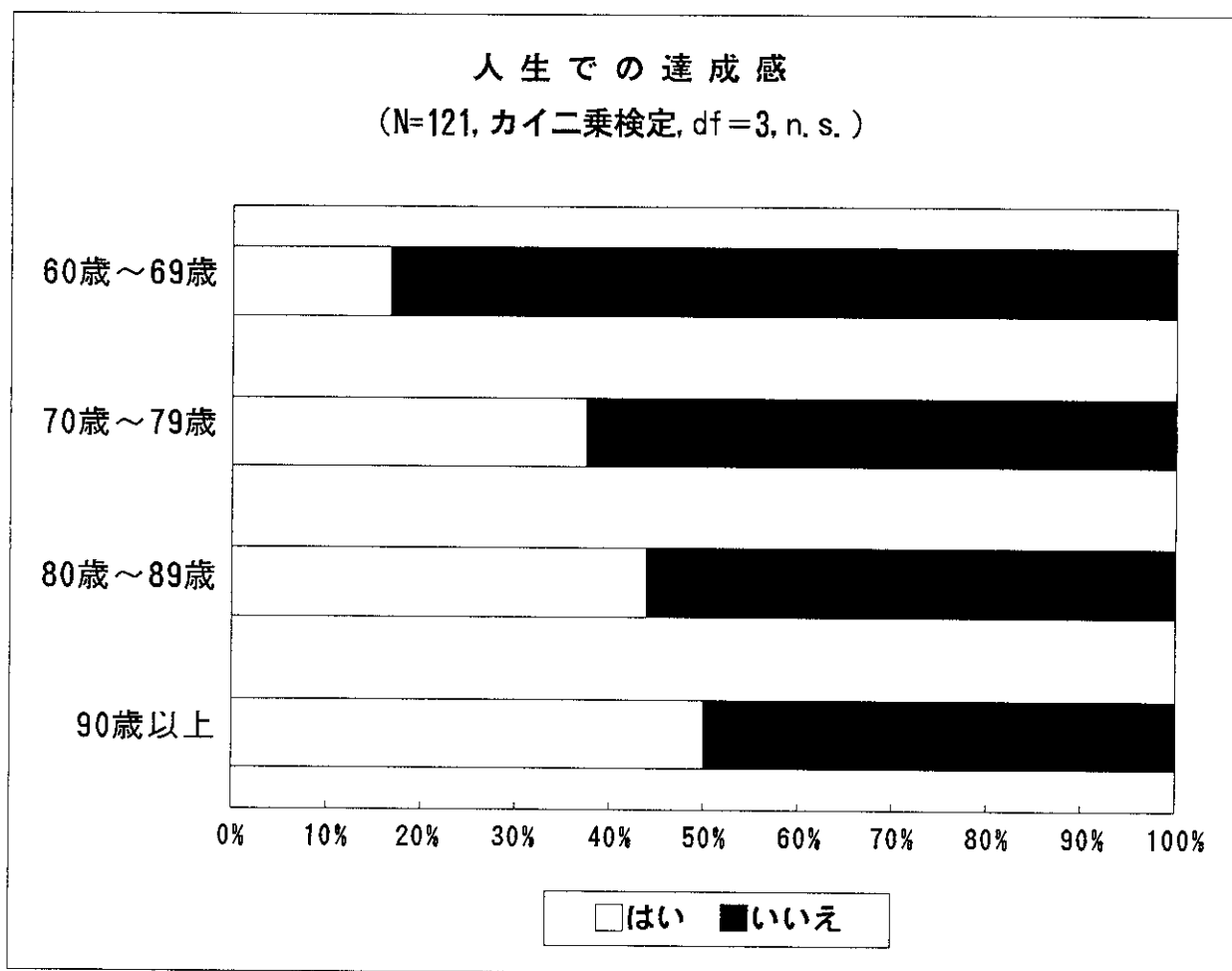


E-9 人生での達成感

「これまでの人生で、あなたは、求めていたことのほとんどを実現できたと思いますか」という質問に対する施設入所者の回答は、「はい」が40.5%、「いいえ」が59.5%であった。

年齢階層別に見ると、図のように、60～69歳では、「はい」が16.7%、「いいえ」が83.3%であった。70～79歳では、「はい」が37.5%、「いいえ」が62.5%であった。80～89歳では、「はい」が43.9%、「いいえ」が56.1%であった。90歳以上では、「はい」が50.0%、「いいえ」が50.0%であった。

人生での達成感について年齢層別に見ると、「はい」と肯定的に回答した入所者は、60歳代では16.7%と非常に低い比率を示しているが、70歳代では37.5%とやや高くなる。70歳代以上の傾向としては、年齢が高くなるにつれて、その比率が上昇する。



IV—F 自 己 決 定（社会福祉施設の入居者）

F—0 基本的視点

本章では、社会福祉施設に入所している高齢者がものごとを決定する時、どのような考え方や方法で決定しているかを把握する。自己決定は、選択に対する意識や自尊心と関連していると言われ、高齢者の生活満足度などの重要な心理的側面に関連していると考えられている。ここでは、そのような決定についての考え方や方法を年齢階層別に比較・分析することとする。

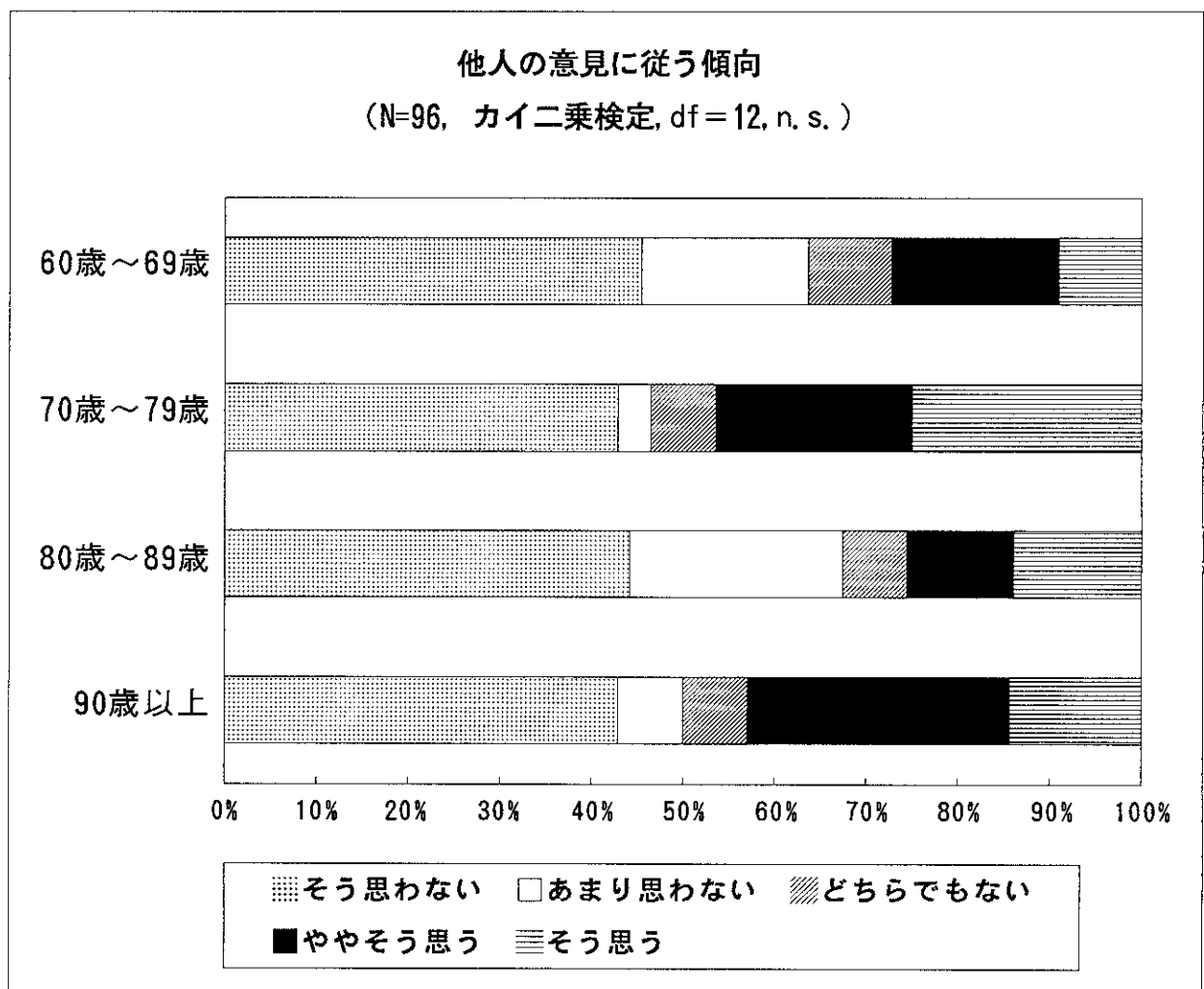
質問内容は、『決定についての積極性』、『決定についての迅速性』、『決定についての回避性』の3つの視点から質問項目を作成した。質問項目数は10項目で、回答選択肢は「そう思わない」から「そう思う」の5段階を用意した。

F-1 他人の意見に従う傾向

「あなたは、自分で物事を決めるときは、たいていは他人の意見に従うほうだと思いますか」という質問に対する施設入所者の回答は、「そう思わない」が最も多く、43.8%、「ややそう思う」が17.7%、「そう思う」が16.7%、「あまりそう思わない」が14.6%、「どちらでもない」が7.3%であった。

年齢階層別に見ると、図のように、60～69歳では、「そう思わない」が最も多く、45.5%、次に「あまりそう思わない」「ややそう思う」がそれぞれ18.2%であった。70～79歳では、「そう思わない」が42.9%、次に「そう思う」が25.0%であった。80～89歳では、「そう思う」が44.2%で、次に「あまりそう思わない」が23.3%であった。90歳以上では、「そう思わない」が42.9%、次に「ややそう思う」が28.6%であった。

他人の意見に従う傾向について年齢層別に見ると、「ややそう思う」「そう思う」と肯定的に回答した入所者は、60歳代と80歳代では20%台、70歳代と90歳以上では40%台となっていた。

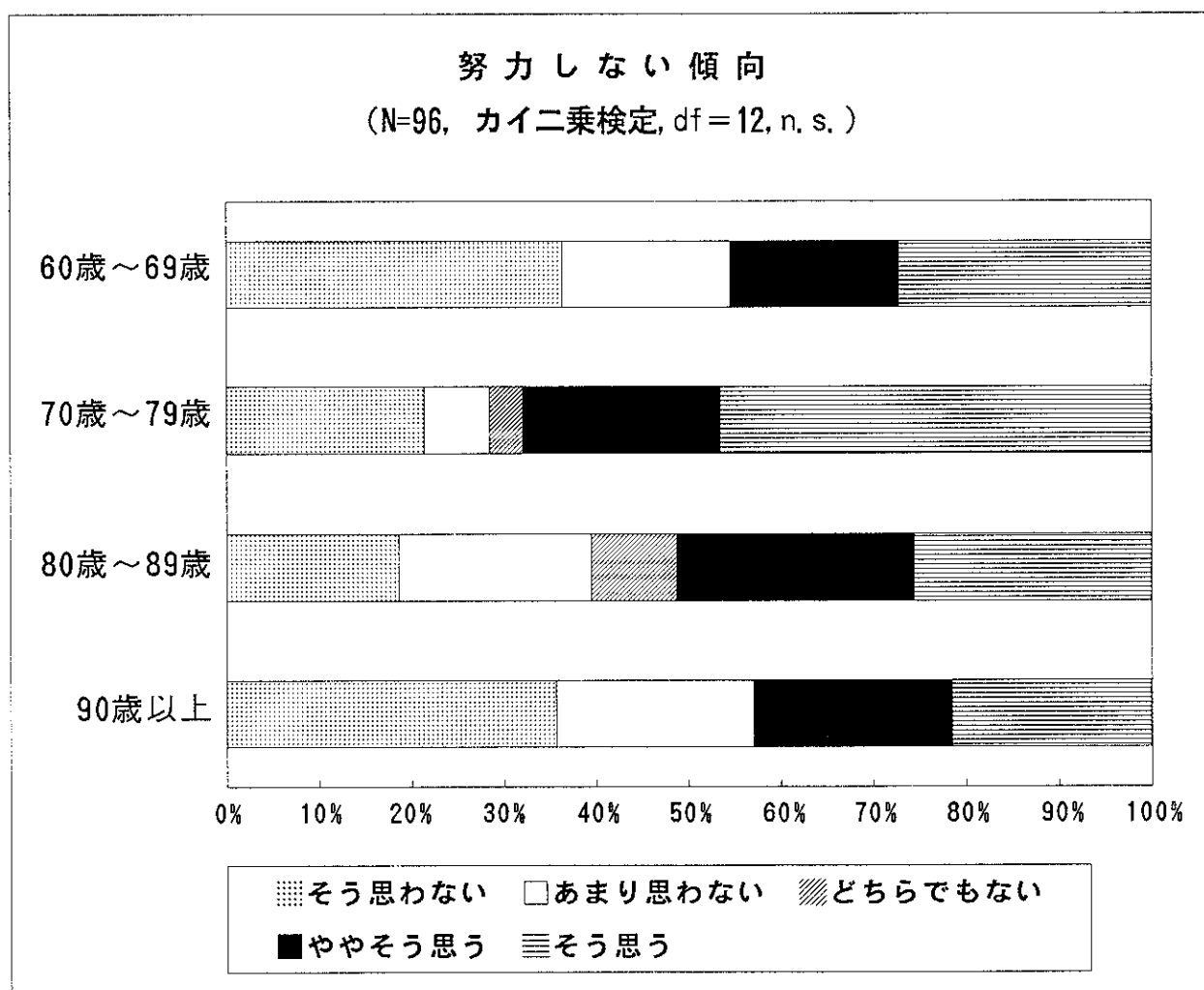


F-2 努力しない傾向

「あなたは、自分で物事を決めるときは、さほど努力しないほうだと思いますか」という質問に対する施設入所者の回答は、「そう思う」が最も多く、31.3%、「そう思わない」が24.0%、「ややそう思う」が22.9%、「あまりそう思わない」が16.7%、「どちらでもない」が5.2%であった。

年齢階層別に見ると、図のように、60～69歳では、「そう思わない」が最も多く、36.4%、次に「そう思う」が27.3%であった。70～79歳では、「そう思う」が46.4%、次に「そう思わない」「ややそう思う」がそれぞれ21.4%であった。80～89歳では、「そう思う」「ややそう思う」がそれぞれ25.6%で、次に「あまりそう思わない」が20.9%であった。90歳以上では、「そう思わない」が35.7%、次に「あまり思わない」「ややそう思う」「そう思う」がそれぞれ21.4%であった。

努力しない傾向について年齢層別に見ると、「ややそう思う」「そう思う」と肯定的に回答した入所者は、60歳代と90歳以上では40%台、70歳代では60%台、80歳代では50%台となっていた。

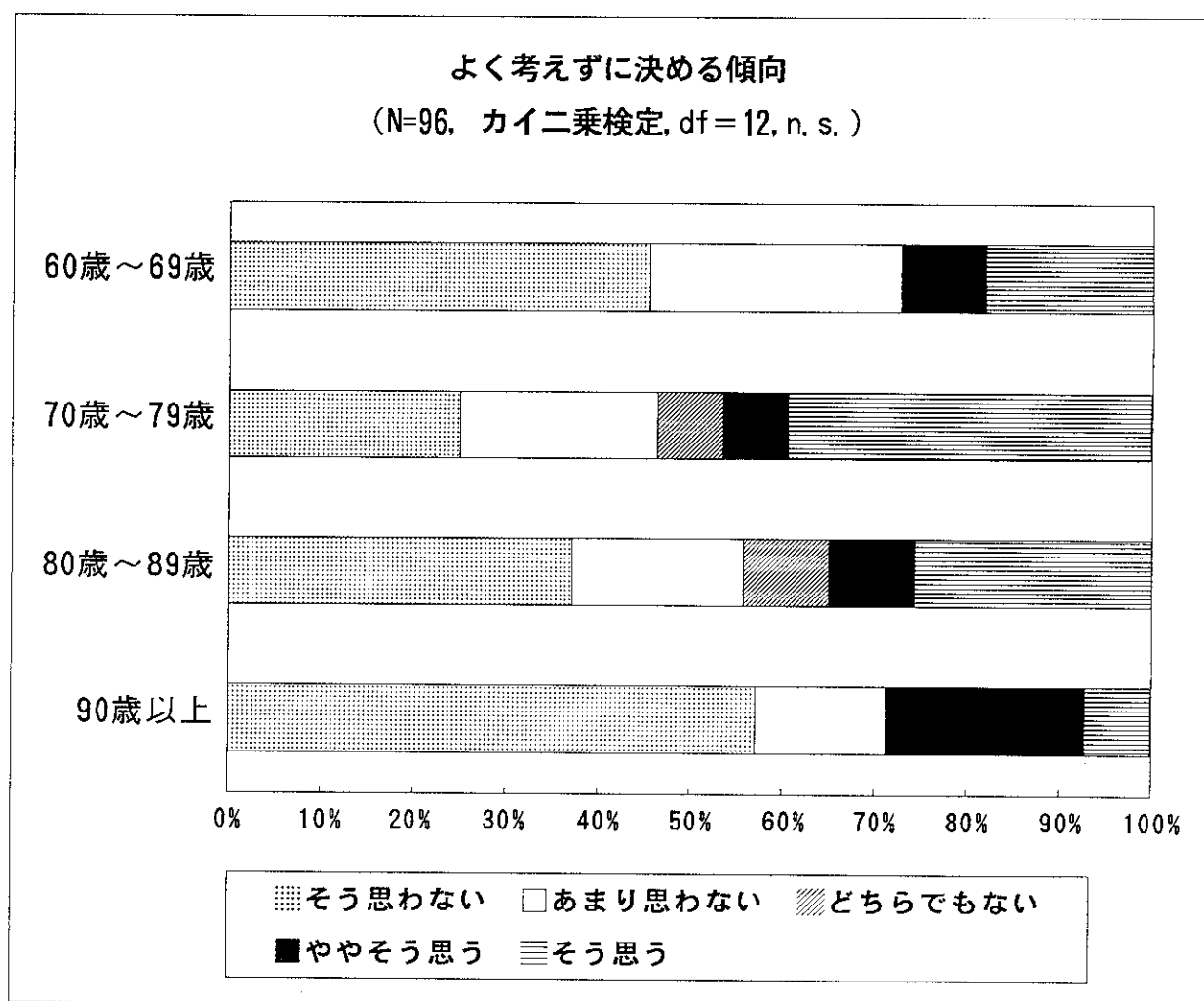


F-3 よく考えずに決める傾向

「あなたは、自分で物事を決めるときは、よく考えずに決めてしまうほうだと思いますか」という質問に対する施設入所者の回答は、「そう思わない」が最も多く、37.5%、「そう思う」が26.0%、「あまり思わない」が19.8%、「ややそう思う」が10.4%、「どちらでもない」が6.3%であった。

年齢階層別に見ると、図のように、60～69歳では、「そう思わない」が最も多く、45.5%、次に「あまりそう思わない」が27.3%であった。70～79歳では、「そう思う」が39.3%、次に「そう思わない」が25.0%であった。80～89歳では、「そう思わない」が37.2%で、次に「そう思う」が25.6%であった。90歳以上では、「そう思わない」が57.1%、次に「ややそう思う」が21.4%であった。

よく考えずに決める傾向について年齢層別に見ると、「ややそう思う」「そう思う」と肯定的に回答した入所者は、60歳代と90歳以上では20%台、70歳代では40%台、80歳代では30%台となっていた。

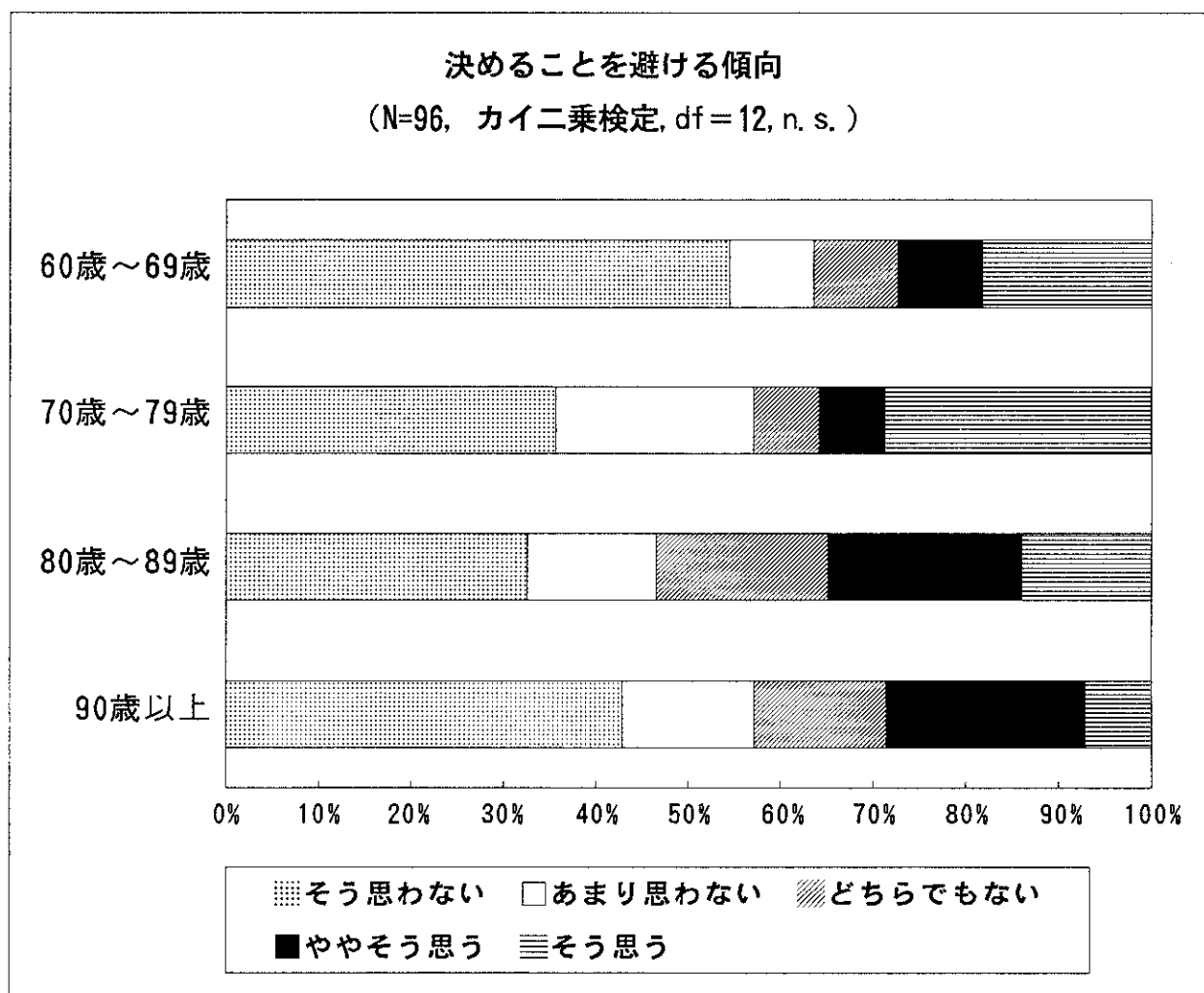


F-4 決めることを避ける傾向

「あなたは、自分で物事を決めるときは、よく考えずに決めてしまうほうだと思いますか」という質問に対する施設入所者の回答は、「そう思わない」が最も多く、37.5%、「そう思う」が26.0%、「あまり思わない」が19.8%、「ややそう思う」が10.4%、「どちらでもない」が6.3%であった。

年齢階層別に見ると、図のように、60～69歳では、「そう思わない」が最も多く、45.5%、次に「あまりそう思わない」が27.3%であった。70～79歳では、「そう思う」が39.3%、次に「そう思わない」が25.0%であった。80～89歳では、「そう思わない」が37.2%で、次に「そう思う」が25.6%であった。90歳以上では、「そう思わない」が57.1%、次に「ややそう思う」が21.4%であった。

よく考えずに決める傾向について年齢層別に見ると、「ややそう思う」「そう思う」と肯定的に回答した入所者は、60歳代と90歳以上では20%台、70歳代では40%台、80歳代では30%台となっていた。

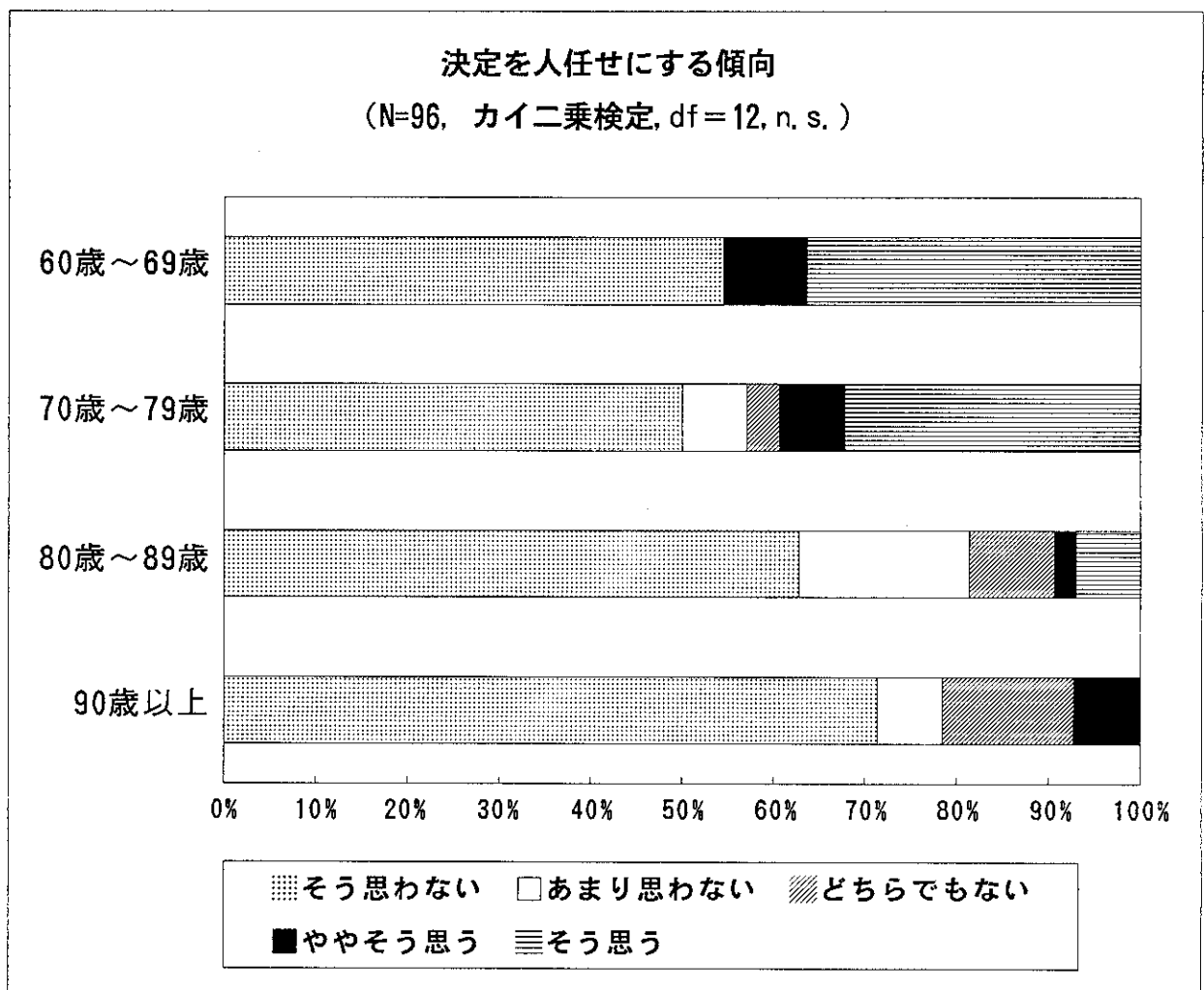


F-5 決定を人任せにする傾向

「あなたは、自分で物事を決定するときは、決定は人に任せてしまうほうだと思いますか」という質問に対する施設入所者の回答は、「そう思わない」が最も多く、59.4%、「そう思う」が16.7%、「あまり思わない」が11.5%、「どちらでもない」が7.3%、「ややそう思う」が5.2%であった。

年齢階層別に見ると、図のように、60～69歳では、「そう思わない」が最も多く、54.5%、次に「そう思う」が36.4%であった。70～79歳では、「そう思わない」が50.0%、次に「そう思う」が32.1%であった。80～89歳では、「そう思わない」が62.8%で、次に「あまりそう思わない」が18.6%であった。90歳以上では、「そう思わない」が71.4%、次に「どちらでもない」が14.3%であった。

決定を人任せにする傾向について年齢層別に見ると、「ややそう思う」「そう思う」と肯定的に回答した入所者は、60歳代と70歳代では40%台、80歳代と90歳以上では一桁のパーセンテージとなっていた。

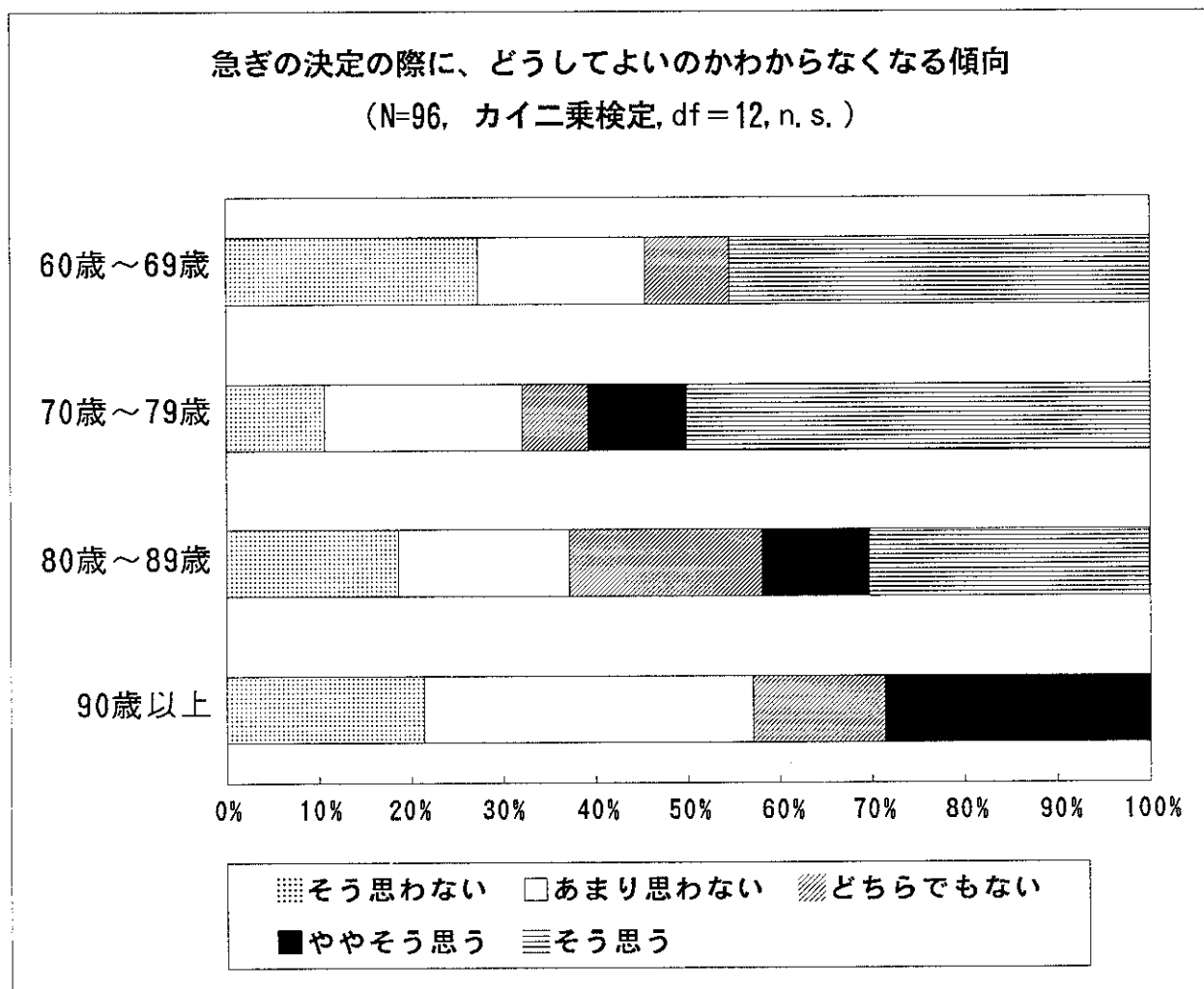


F-6 急ぎの決定の際に、どうしてよいのかわからなくなる傾向

「あなたは、急いで自分で物事を決定しなければならないとき、どうしてよいのかわからなくなるほうだと思いますか」という質問に対する施設入所者の回答は、「そう思う」が最も多く、33.3%、「あまりそう思わない」が21.9%、「そう思わない」が17.7%、「どちらでもない」が14.6%、「ややそう思う」が12.5%であった。

年齢階層別に見ると、図のように、60～69歳では、「そう思う」が最も多く、45.5%、次に「そう思わない」が27.3%であった。70～79歳では、「そう思う」が50.0%、次に「あまりそう思わない」が21.4%であった。80～89歳では、「そう思う」が30.2%で、次に「どちらでもない」が20.9%であった。90歳以上では、「あまりそう思わない」が35.7%、次に「ややそう思う」が28.6%であった。

急ぎの決定の際に、どうしてよいのかわからなくなる傾向について年齢層別に見ると、「ややそう思う」「そう思う」と肯定的に回答した入所者は、60歳代、70歳代、80歳代では40%から60%台と比較的高い比率を占めていたが、90歳以上では20%台と低い比率であった。

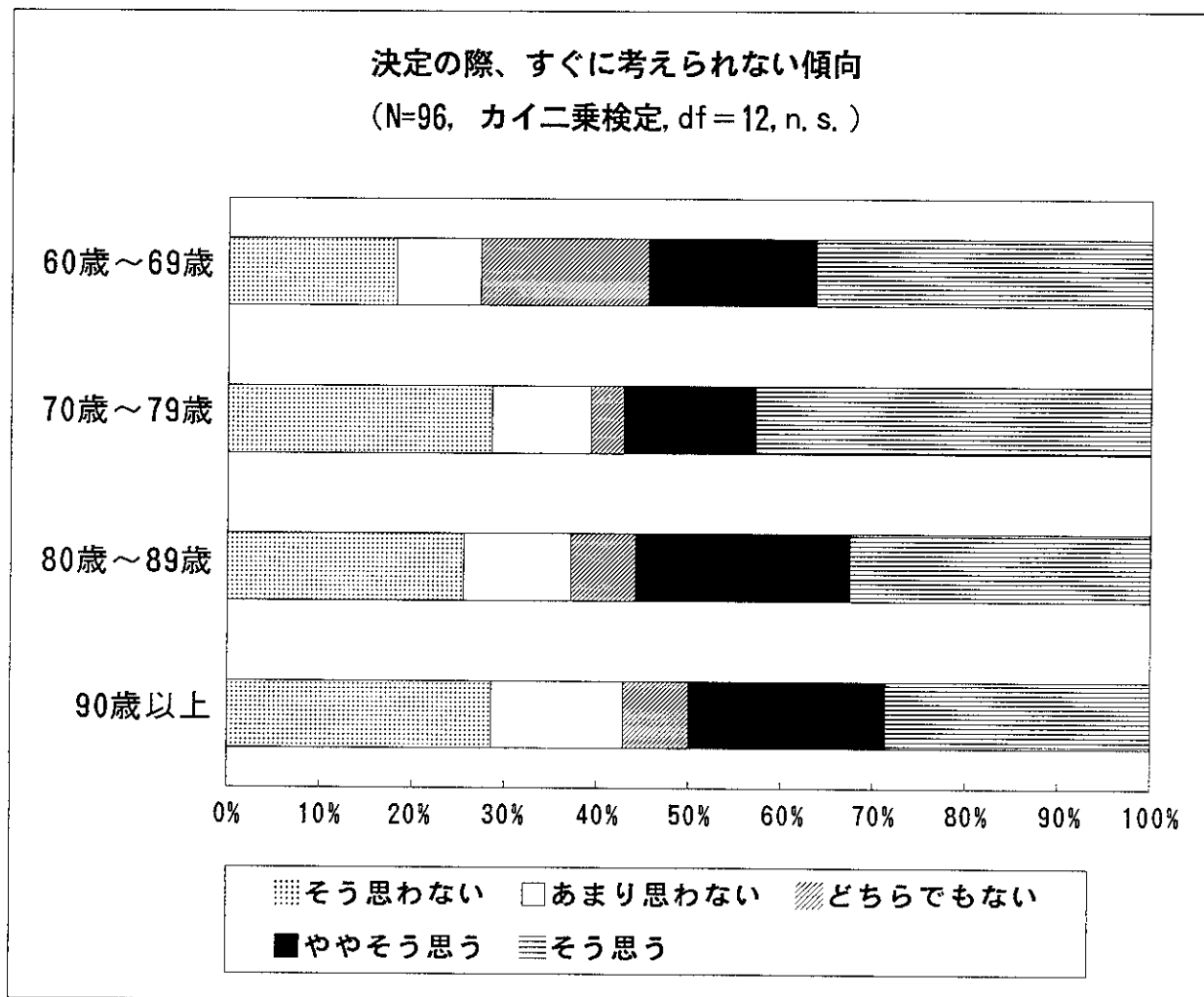


F-7 決定の際、すぐに考えられない傾向

「あなたは、自分で物事を決定するときは、すぐには考えられないほうだと思いますか」という質問に対する施設入所者の回答は、「そう思う」が最も多く、35.4%、「そう思わない」が26.0%、「ややそう思う」が19.8%、「あまりそう思わない」が11.5%、「どちらでもない」が7.3%であった。

年齢階層別に見ると、図のように、60～69歳では、「そう思う」が最も多く、36.4%、次に「そう思わない」「ややそう思う」「どちらでもない」がそれぞれ18.2%であった。70～79歳では、「そう思う」が42.9%、次に「そう思わない」が28.6%であった。80～89歳では、「そう思う」が32.6%で、次に「そう思わない」が25.6%であった。90歳以上では、「そう思わない」「そう思う」がそれぞれ28.6%、次に「ややそう思う」が21.4%であった。

決定の際、すぐに考えられない傾向について年齢層別に見ると、「ややそう思う」「そう思う」と肯定的に回答した入所者は、どの年齢層においても50%以上を示していた。

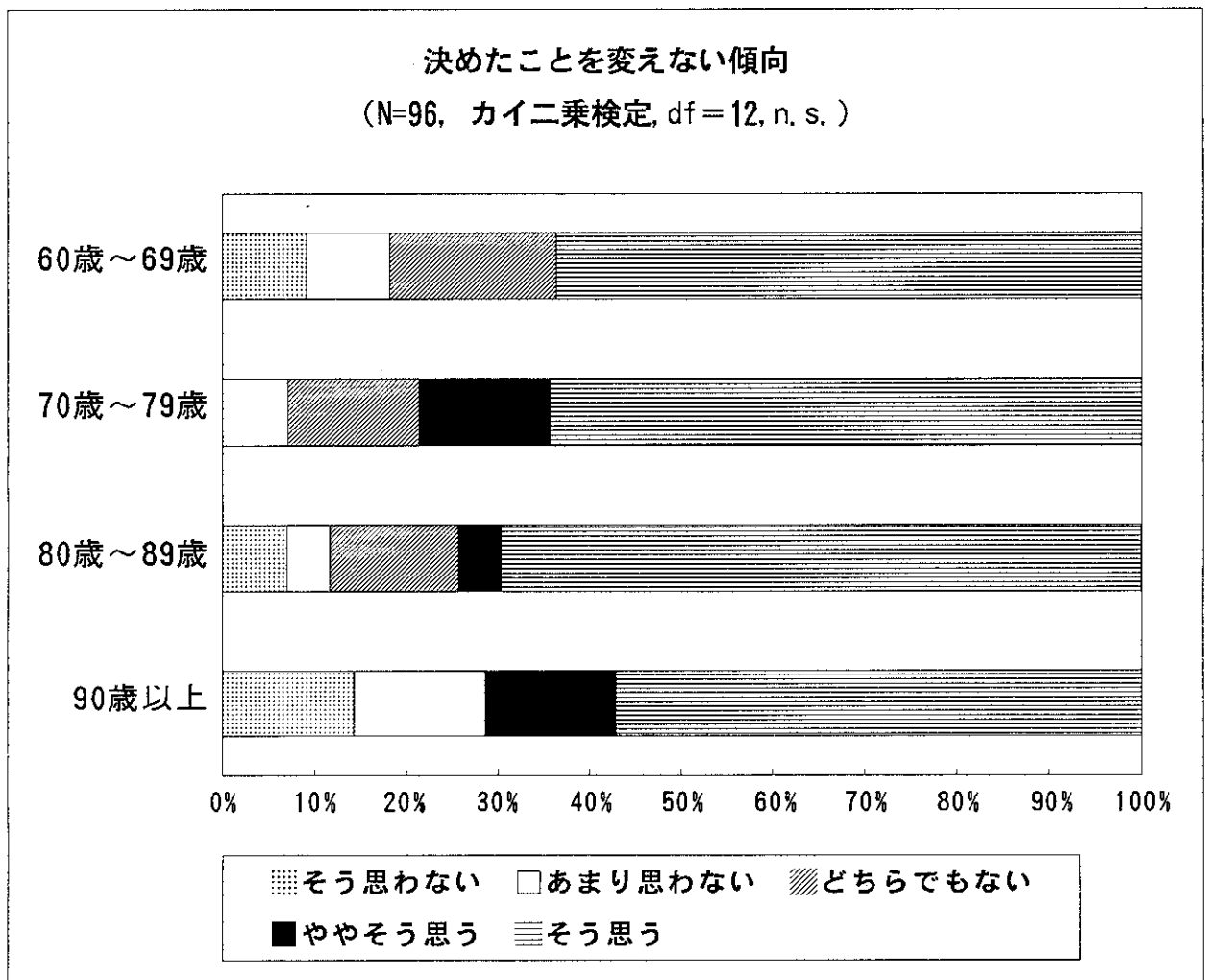


F-8 決めたことを変えない傾向

「あなたは、物事をいったん決めたら、もうその気持ちを変えないほうだと思いますか」という質問に対する施設入所者の回答は、「そう思う」が最も多く、65.6%、「どちらでもない」が12.5%、「ややそう思う」が8.3%、「あまりそう思わない」が7.3%、「そう思わない」が6.3%であった。

年齢階層別に見ると、図のように、60～69歳では、「そう思う」が最も多く、63.6%、次に「どちらでもない」が18.2%であった。70～79歳では、「そう思う」が64.3%、次に「ややそう思う」「どちらでもない」がそれぞれ14.3%であった。80～89歳では、「そう思う」が69.8%で、次に「どちらでもない」が14.0%であった。90歳以上では、「そう思う」が57.1%であった。

決定の際、すぐに考えられない傾向について年齢層別に見ると、「ややそう思う」「そう思う」と肯定的に回答した入所者は、どの年齢層においても60%以上を示していた。

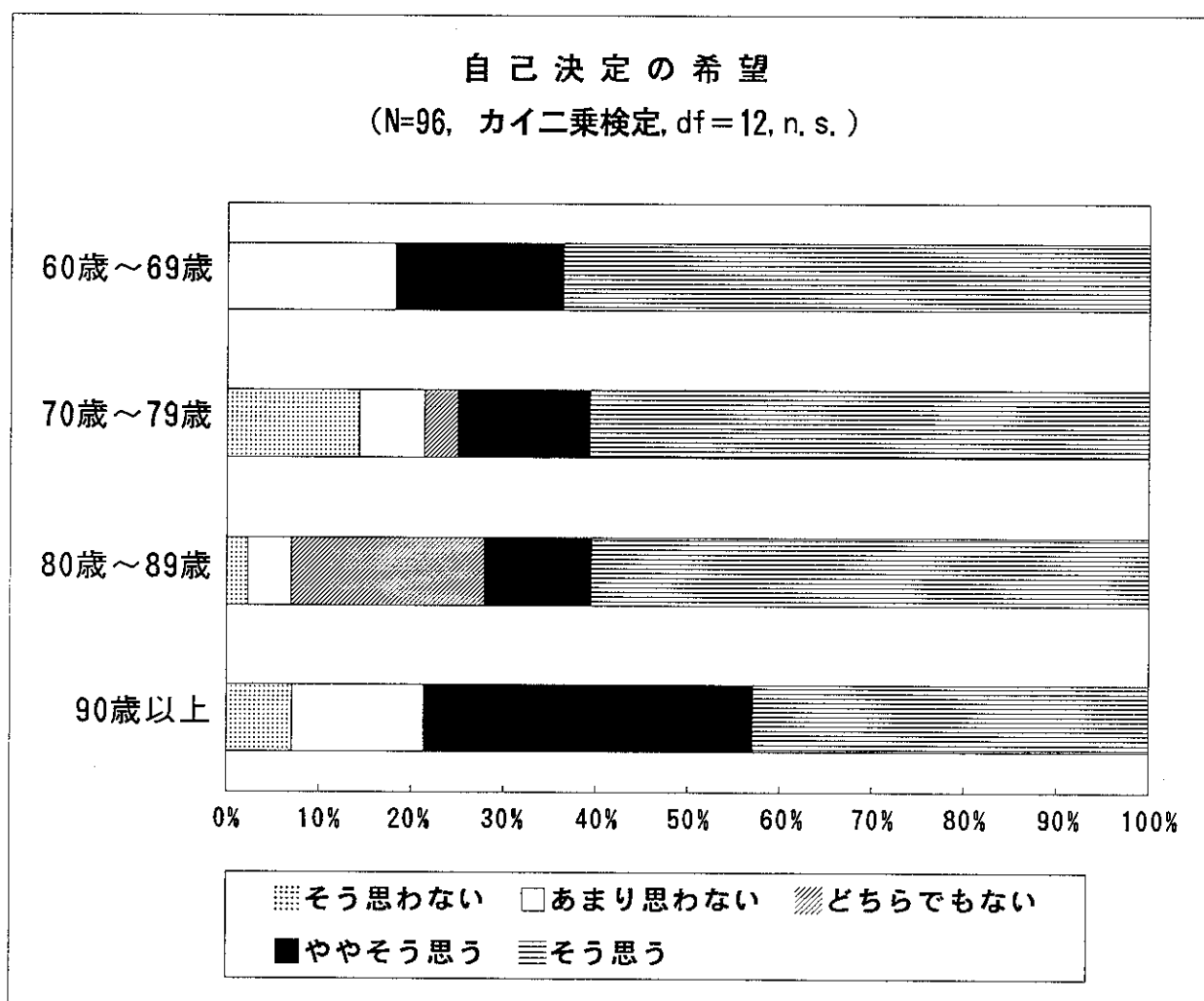


F-9 自己決定の希望

「あなたは、物事を決定するときは、自分自身で決定したいと思いますか」という質問に対する施設入所者の回答は、「そう思う」が最も多く、58.3%、「ややそう思う」が16.7%、「どちらでもない」が10.4%、「あまりそう思わない」が8.3%、「そう思わない」が6.3%であった。

年齢階層別に見ると、図のように、60～69歳では、「そう思う」が最も多く、63.6%、次に「ややそう思う」が18.2%であった。70～79歳では、「そう思う」が60.7%、次に「そう思わない」「ややそう思う」がそれぞれ14.3%であった。80～89歳では、「そう思う」が60.5%で、次に「どちらでもない」が20.9%であった。90歳以上では、「そう思う」が42.9%、「ややそう思う」が35.7%であった。

決定の際、すぐに考えられない傾向について年齢層別に見ると、「ややそう思う」「そう思う」と肯定的に回答した入所者は、どの年齢層においても70%以上を示していた。

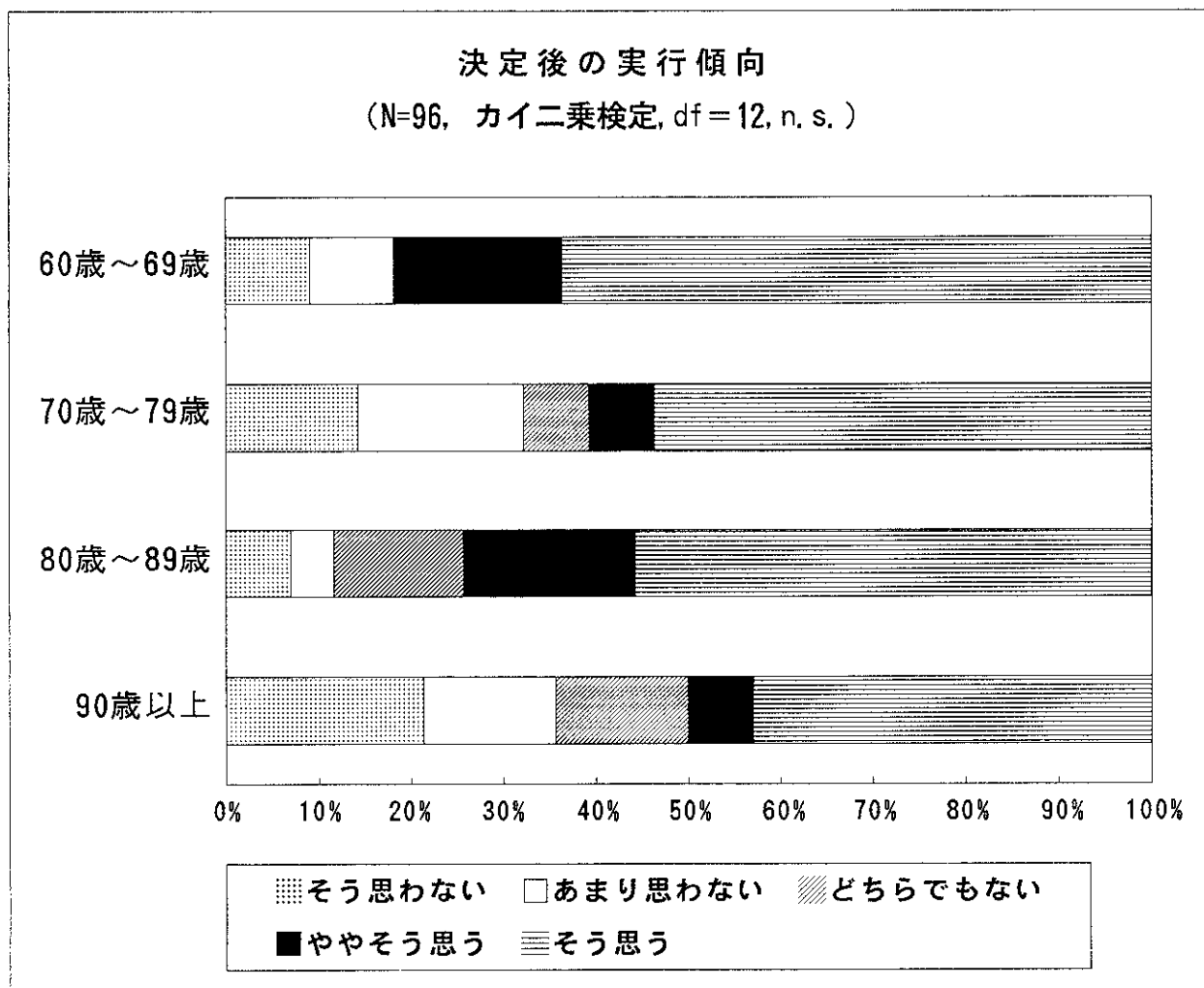


F-10 決定後の実行傾向

「あなたは、自分で物事を決めたら、すぐにそれを実行するほうだと思いますか」という質問に対する施設入所者の回答は、「そう思う」が最も多く、54.2%、「ややそう思う」が13.5%、「そう思わない」が11.5%、「どちらでもない」「あまりそう思わない」がそれぞれ10.4%であった。

年齢階層別に見ると、図のように、60～69歳では、「そう思う」が最も多く、63.6%、次に「ややそう思う」が18.2%であった。70～79歳では、「そう思う」が53.6%、次に「あまりそう思わない」が17.9%であった。80～89歳では、「そう思う」が55.8%で、次に「ややそう思う」が18.6%であった。90歳以上では、「そう思う」が42.9%、「そう思わない」が21.4%であった。

決定後の実行傾向について年齢階層別に見ると、「ややそう思う」「そう思う」と肯定的に回答した入所者は、どの年齢層においても50%以上を示していた。



IV-G 施設で生活する高齢者の心理的な強さの状況 (ケアハウス入居者)

G-0. 基本的視点

この章の目的は、施設で暮らしている高齢者が、その生活の中で持つ心理的な強さを把握することである。本章でいう心理的な強さとは、具体的にはコンピテンス、自尊心、ローカス・オブ・コントロールの3つに大別することができる。コンピテンスとは人間が持っているさまざまな能力で、かつ環境との相互作用の中で自己と環境を効果的に処理する能力のことである。自尊心とは、環境との相互作用の中で自分の価値や能力を主観的に評価する感情や態度のことである。ローカス・オブ・コントロールとは、人がある行動を起こすとき、その行動が自分自身の統制下にあると信じるか否かといった感情や信念のことである。

そして特に、年齢層により心理的な強さの状況にどのような相違点、類似点があるかを比較分析する。

質問の内容は、コンピテンスは「友達がたくさんいる方だ」、「友達をつくることは難しい」、「いつもひとりで行動する方だ」、「今のままの自分でいたい」、「できるならば直したい欠点がたくさんある方だ」、「自分に自信が持てる方だ」、「もっと違った生き方ができればよいと思う」、「今のままの自分にとっても満足している方だ」の8項目である。自尊心は「自分は価値のある人間だ」、「自分にはいくつか見どころがある」、「人並みに物事ができる」、「自分自身に対して前向きである」、「自分はこれが得意だというものがある」、「いつも自分は失敗している人だ」、「時々、自分が役に立たない」、「時々、自分が本当に良くない人間だ」、「もう少し自分自身を好きになれたらよいのに」、「他人よりも劣っている」の10項目である。そしてローカス・オブ・コントロールは「何事でも成り行きに任せるのが一番だ」、「自分の人生は運命によって決められている」、「幸不幸は偶然によって決まる」、「人生はギャンブルのようなものだ」、「将来は運やチャンスによって決まる」、「自分の身に起こることは自分の力ではどうすることもできない」、「努力すれば良い人間になれる」、「努力すればどんなことでも自分の力のできる」、「幸不幸は自分の努力次第だ」、「自分の人生を思い通りに生きることができる」の10項目である。

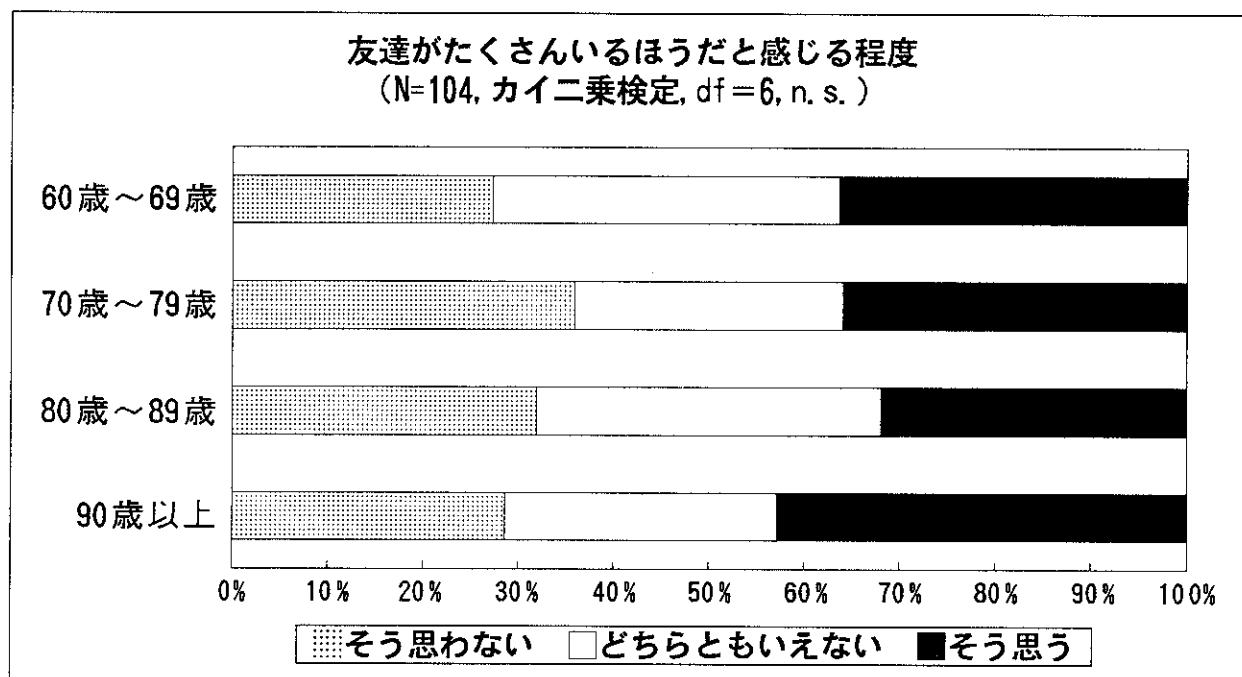
回答は「そう思わない」、「どちらともいえない」、「そう思う」の3段階の選択肢でたずねた。

G-1. 友達がたくさんいる方だと感じる程度

友達がたくさんいる方だと思いますかと尋ねたところ、全体として、「そう思う」が34.9%で最も多く、次に「そう思わない」が33.0%、「どちらともいえない」が32.1%であった。

年齢階層別にみると、図のように、60～69歳では、「そう思う」、「どちらともいえない」と回答した利用者がともに36.4%を占め、「そう思わない」が27.3%であった。70～79歳では、「そう思う」、「そう思わない」と回答した利用者がともに35.9%を占め、次に「どちらともいえない」が28.2%であった。80～89歳では、「どちらともいえない」と回答した利用者が36.2%を占め、「そう思う」、「そう思わない」と回答した利用者がともに31.9%であった。90歳以上では、「そう思う」と回答した利用者が44.4%を占め、次に「そう思わない」が33.3%、「どちらともいえない」が22.2%であった。

友達がたくさんいる方だと感じる程度を年齢階層別にみると、60～69歳では、3割程度が「そう思う」、「どちらともいえない」の両者を同じ割合で答える傾向がみられた。また、70～79歳および80～89歳で3割程度が「そう思う」、「そう思わない」の両者を同じ割合で答える傾向がみられた。90歳以上で4割程度が「そう思う」と答える傾向がみられた。

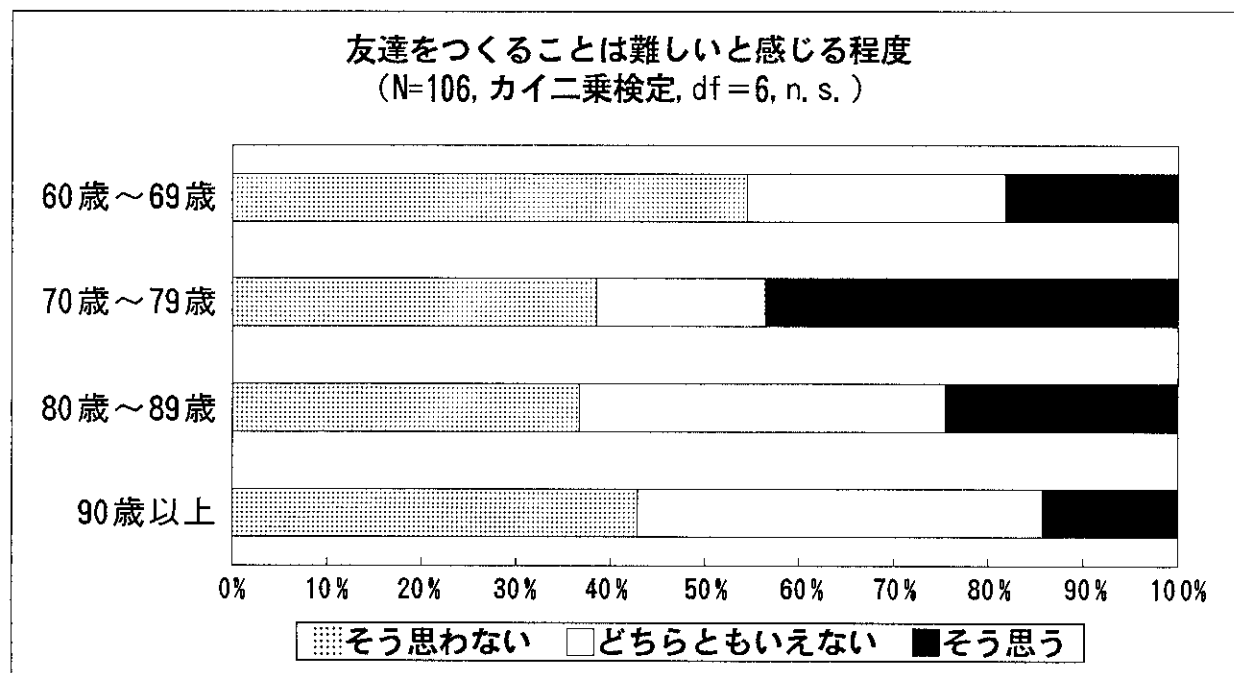


G-2. 友達をつくることは難しいと感じる程度

友達をつくることは難しいと思いますかと尋ねたところ、全体として、「そう思わない」が最も多く、39.1%を占め、次に「そう思う」が31.8%、「どちらともいえない」が29.1%であった。

年齢階層別にみると、図のように、60～69歳では、「そう思わない」と回答した利用者が、54.5%を占め、次に「どちらともいえない」が27.3%、「そう思う」が18.2%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した利用者が、43.6%を占め、次に「そう思わない」が38.5%、「どちらともいえない」が17.9%であった。80～89歳では、「そう思わない」と回答した利用者が38.8%を占め、次に「そう思わない」が36.7%、「どちらともいえない」が27.3%であった。90歳以上では、「そう思う」、「そう思わない」と回答した利用者がともに36.4%を占め、次に「どちらともいえない」が27.3%であった。

友達をつくることは難しいと感じる程度を年齢階層別にみると、60～69歳および90歳以上で3割程度が「そう思わない」と答える傾向がみられた。一方、70～79歳で4割程度が「そう思う」と答える傾向がみられた。また、80～89歳では、3割程度が「どちらともいえない」と答える傾向がみられた。



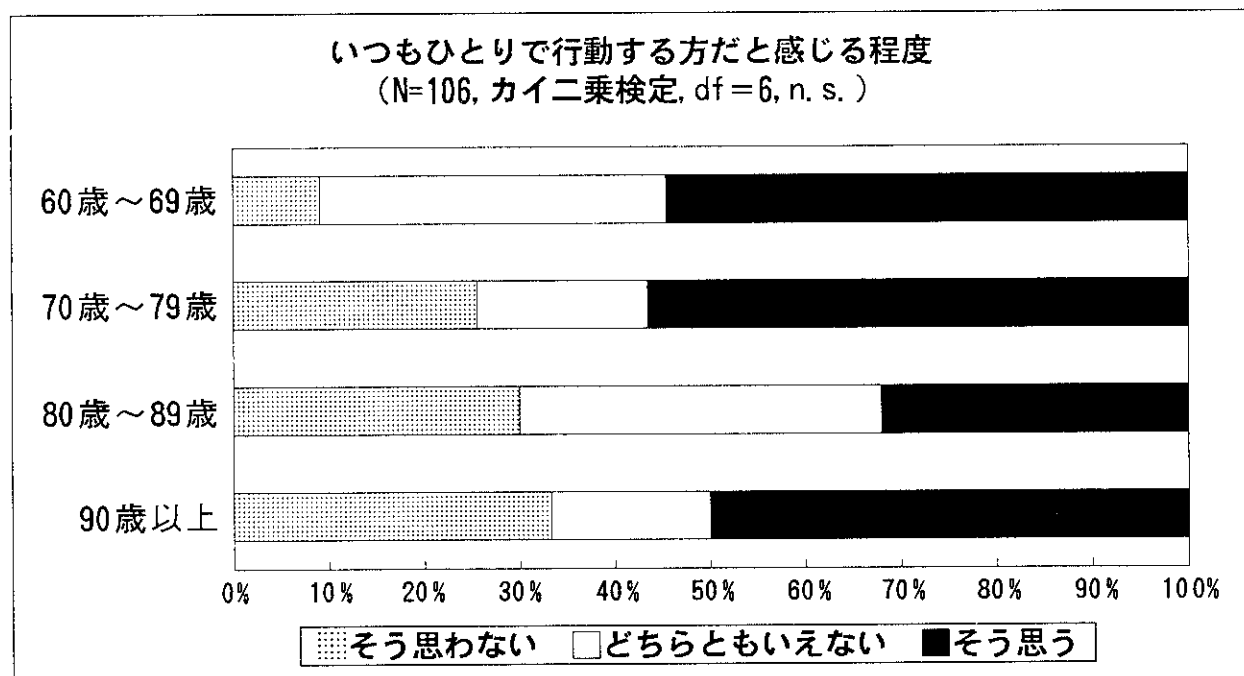
G-3. いつもひとりで行動する方だと感じる程度

いつもひとりで行動する方だと思いますかと尋ねたところ、全体として、「そう思う」が

最も多く、44.0%を占め、次に「そう思わない」が27.5%、「どちらともいえない」が28.4%であった。

年齢階層別にみると、図のように、60～69歳では、「そう思う」と回答した利用者が54.5%を占め、次に「どちらともいえない」が36.4%、「そう思わない」が9.1%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した利用者が56.4%を占め、次に「そう思わない」が25.6%、「どちらともいえない」が17.9%であった。80～89歳では、「どちらともいえない」と回答した利用者が38.0%を占め、次に「そう思う」が32.0%、「そう思わない」が30.0%であった。90歳以上では、「そう思う」、「そう思わない」と回答した利用者がともに44.4%を占め、次に「どちらともいえない」が11.1%であった。

いつもひとりで行動する方だと感じる程度を年齢階層別にみると、60～69歳および70～79歳でともに半数以上が「そう思う」と答える傾向がみられた。また、80～89歳で4割程度が、「そう思う」、「そう思わない」と両者を同じ割合で答える傾向がみられた。一方、90歳以上で3割程度が「そう思わない」と答える傾向がみられた。



G-4. 今のままの自分でいたいほうだと感じる程度

今のままの自分でいたいと思いますかと尋ねたところ、全体として、「そう思う」が最も多く、55.0%を占め、次に「そう思わない」が24.8%、「どちらともいえない」が20.2%であった。

年齢階層別にみると、図のように、60～69歳では、「そう思う」と回答した利用者が54.5%を占め、次に「そう思わない」が27.4%、「どちらともいえない」が18.4%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した利用者が60.5%を占め、次に「そう思わない」が21.1%、「どちらともいえない」が18.4%であった。80～89歳では、「そう思う」と回答した利用者が49.0%を占め、次に「どちらともいえない」が26.5%、「そう思わない」が24.5%であった。90歳以上では、「そう思う」と回答した利用者が63.6%を占め、次に「そう思わない」が36.4%であった。

今のままの自分でいたいほうだと感じる程度を年齢階層別にみると、60～69歳では半数以上、80～89歳で4割程度、70～79歳および90歳以上で6割程度が「そう思う」と答えており、回答傾向は類似している。

